２０２１年度　事　業　計　画　書

２０２１年1月１日 から２０２１年１２月３１日まで

特定非営利活動法人フレンズ･ウィズアウト･ア･ボーダーJAPAN

１．事業実施の方針

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が続いていることから、各国の体制に沿った形で活動を実施していく。ラオスでは厳しい水際対策によりコロナ感染は抑えられている。一方で、栄養失調や下痢、慢性疾患等で苦しむ子供たちはまだ多く、ラオ・フレンズ小児病院（LFHC）来院患者及び入院を必要とする患者も著しく増加している。コロナ禍においても継続して必要な医療を提供すべく、引き続き、質の高い心のこもった医療を提供する。また、オンライン機能を利用した教育も継続して実施し、スタッフ教育及びスタッフ個々の技術向上に努める。

カンボジア全土の医療向上を求め、カンボジアの「アンコール小児病院（AHC)」の活動評価を行い、現地のニーズに沿った助成事業を継続して行う。

日本国内においては、昨年に続きオンラインでのライブ配信やチャリティーイベントを開催し、団体の認知度/知名度向上に繋げる。企業との連携構築強化、寄付キャンペーン及び助成金申請も継続して行いながら、新規支援者獲得及び安定した運営資金確保に努める。リニューアルした WEB サイトをより充実させ、また、団体の広報物や SNS をうまく利用し、団体広報の強化を行う。

２．事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事 業 名	事 業 内 容	実施予定日時	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額（千円）
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	アンコール小児病院	520 名	1)カンボジア人医療従事者のべ 500 名以上 2)不特定多数のカンボジアの子供、教師や地域住民	40,000
医療施設運営・教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)」の運営、医療・教育・予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	140 名	1)不特定多数のルアンパバーン地区の子供 2)LFHC スタッフ及び他医療施設スタッフ約 150 名	40,000
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民へ医療・予防教育等を行う。	通年	ラオス、カンボジア	1 名	現地スタッフ約 100 名及び不特定多数の地域住民	500
医療物資等運搬事業	病院のために寄贈された物品や備品等の輸送手配や、運搬を行う。	通年	法人事務所、他	10 名	不特定多数の医療従事者と患者	20
普及啓発事業	WEB サイトやリーフレット、アニュアルレポートの活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	20 名	不特定多数の寄付者及び参加希望者	18,085